

子ども読書支援センター 相談事例

読み聞かせのために
「卒業する6年生に向けて元気の出る絵本」
「年明けに読む紙芝居」「中学生に読む本」「幼児とおかあさんのサークルで読める大型絵本」...

おはなし会のために
「高齢者施設でのおはなし会で使える絵本や紙芝居」「高学年向けおはなし会に参加者を増やす工夫」「短くて怖い話」...

学校図書館について
「図書の並べ方」「朝読書用の15分で読める本」「そろえたいノンフィクション」「掲示の工夫」...

特定テーマ・目的の本について
「小学校低・中学年に紹介する戦争に関する本」
「5年生の林間学校の前に読む自然・環境保護」

子ども読書支援センターへは、開設以来、様々な問い合わせが寄せられています。例えば...

里山などに関する本」「卒園時に子どもたちに贈る絵本」...

講師について

読み聞かせ、ストーリーテリング、ブックトーク、わらべうた、科学あそび、埼玉の民話・昔話の解説ができる人...

その他、「絵本の拡大コピーと著作権」「品切れ・絶版本の探し方」「ブックトークのシナリオにアドバイスがほしい」等々、職員の手には負えない場合は、関連の機関・団体・個人を紹介するなど、空振りはないように努めております。

というわけで、子ども読書に関することなら、何でもお気軽に、子ども読書支援センターへ。

*相談件数：2005年度342件、2006年度2月末現在349件



Shien 第3号

子どもの読書に関わる大勢の方の活動とネットワークを支援(Shien)するそんな大きな願いをもったやさやかな情報誌です。

平成19年3月15日 発行

埼玉県立久喜図書館 子ども読書支援センター

《目次》

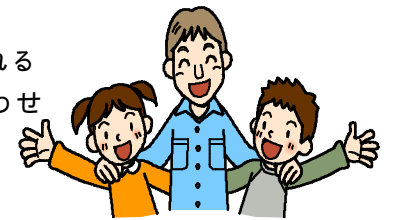
- 【子ども読書支援センター】まもなく2年 1
- 連載：おはなし・読み聞かせ実践講座 1
- 連載：子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介 2
- 新聞・雑誌クリッピング担当から 2
- ブックリスト担当から 3
- インターネットからの情報収集担当から 3
- 子ども読書支援センター相談事例 4
- 平成18年度県立図書館子ども読書支援関連事業報告 4

【子ども読書支援センター】まもなく2年

あっという間の2年でした。いえ、準備期間も加えれば3年近く、担当職員の中はいつも“子ども読書支援センター”を中心にまわってきました。

子ども読書が注目を集める中、まずは、新たに子ども読書に参入してくる方たちの各種相談・問い合わせに応じられるよう体制を整えました。学校へのボランティア導入が急激に進み、初めて読み聞かせをするという方たちが、実践経験を積んだ先輩たちからアドバイスを受けられるよう、ボランティア指導者養成・派遣の仕組みを軌道に乗せました。子どもをとりまく様々な立場の人たちの連携・協力が深まることを志向し、交流集会を開催しました。また、情報誌・ホームページを利用した情報発信により、子ども読書に関わる方々の活動を側面から支えたいと、子ども読書支援ボランティアの方たちの協力を得て情報収集に努めてまいりました。

本や読書が、子どもたちの毎日に、多少なりとも活気や潤いをもたらしてくれることを願いつつ、引き続き、県立図書館だからできること、みなさんと力を合わせてこそ可能なことを、ひとつひとつ着実に進めていきたいと考えています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



平成18年度埼玉県立図書館子ども読書支援関連事業報告

地域子ども読書支援事業

今年度、3期にわけて、「絵本の読み聞かせ」や「ストーリーテリング」の研修を希望するボランティア団体へ“おはなしボランティア指導者”を派遣する「地域子ども読書支援事業」を実施しました。この事業では、昨年度、『「拡げよう読み聞かせ・ストーリーテリングの輪」おはなしボランティア指導者養成講座』に参加し、講座を修了した方々に、おはなしボランティア指導者としてご協力をいただきました。

応募は42件あり、その内、約8割が小学校で「絵本の読み聞かせ」をしている団体からでした。希望する講座の内容は絵本の選び方についてが多かったようです。

受講後、とても有意義な研修だったので、ぜひまた受講したいとの声もたくさん届いています。来年度も「読み聞かせ・ストーリーテリングの輪」が拡がり、深まることを願い、ご応募をお待ちしています。

おはなしボランティア指導者養成講座

昨年度に引き続き、『おはなしボランティア指導者養成講座』を今年度は県立熊谷図書館を会場に開催しました。遠方からも予想を上回る多くの応募があり、子どもの読書活動に関わるボランティアの方々の意識の高さを感じました。22名の受講生は、講師陣の熱意溢れる講義を聴き、絵本の読み聞かせやストーリーテリングの実習を行いました。みなさん熱心に受講され、全員の方が講座を修了されました。

来年度、『地域子ども読書支援事業』での活躍が期待されます。

平成18年度子ども読書活動交流集会を開催しました

11月19日(日)、さいたま市のさいたま市民会館おおみやを会場に開催しました。

県立図書館ホームページで当日の概要を紹介しています。

http://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/ko_shien/shien4.html#kouryu



編集後記

読み聞かせなど子どもの読書に関わる活動をしている方の知識と熱意に、ボランティア初心者の私は目を見張ることばかり。私たちの活動が皆さまと子どもたちのお役に立つものであるようお願いしています。(S.O)



編集発行 埼玉県立久喜図書館
子ども読書支援センター
協力 子ども読書支援ボランティア

埼玉県立図書館のホームページ 「子ども読書支援サービス」
<http://www.lib.pref.saitama.jp/>

〒346-8506 埼玉県久喜市下早見 85-5

☎ 0480(21)2659(代) fax 0480(21)2791

おはなし・読み聞かせ実践講座

このコーナーでは、「おはなしボランティア指導者」の皆さんによる、おはなし会を行う上でのワン・ポイント・アドバイスをリレーでお届けします。



「読み聞かせ」で一番大切なのは本選び バランスの良い選書
いわゆる「ウケる話」は笑ってもらえると楽しく、充実感がありますが、そればかりでは子どもに飽かれます。また、教訓のある話「カタイ話」はシーンと聞いてもらうと何かを届けた感じ「届けた感」があり、この種の話が大好きな読み手も多いのですが、説教話ばかりでは、読書へのハードルを高くし、本を敬遠するようになりかねません。要するにバランスが大事なのです。一般的に、読み聞かせの本選びは「創作の物語」が多くなりやすいので「昔話」「科学の本」を意識して入れるようにするとバランスがとれると思います。

私たちは所詮大人 自分の感性を過信しないで
保育園・幼稚園・学校・図書館などで実践している人のリストを利用するのも一案です。私たちは所詮大人。子どものように感じることはできません。「この本が大好き。だから子どもたちに聞かせたい」ではなく、「この本あたりどう

かな?とってやってみたら子どもたちが集中して聞いた。楽しめた。深い満足があった。」といった選び方が正解なのではないでしょうか。読み聞かせの場は大人の自己表現の場ではありません。純粋に子どもたちを読書にいざなうためのものであってほしいと思います。

広い視野で遊ぼう

近い将来読ませたい読み物、昔話集、科学の本を読むと読書につながる読み聞かせの方向性がつかめてきます。面白い読み物は子どもたちの「ひとり読みへの入口」です。昔話は耳で聴くのに適した文章・子どもたちが喜ぶ骨太なストーリー・繰り返しの大切さを教えてくれます。科学読み物は、子どもたちが本質的に求めている「知る喜び」にあふれています。児童書を(一般書も)たくさん読んで選書の目を多角的に養っていきましょう。

渡辺弘子(おはなしボランティア指導者養成講座受講生)

1992年8月24日、「学校図書館を考える・埼玉ネットワーク」は発足しました。

子どもたちがいて、本があって、それなのに、このふたつを結びつける人がいないために、多くの学校図書館は十分に活用されていない現状にあります。

いま学校図書館に人を！ 「学校図書館を考える・埼玉ネットワーク」は、学校図書館に専任の図書館職員を置きたいと願う人たちが、お互いの情報を交換し、それを生かしていく場として発足しました。

『waltz(ワルツ)』は、この運動の一環を担うニュース紙です。ワルツを奏でるような軽快なステップで運動を進めていければと思い、命名しました。

この文章は『waltz』第1号の巻頭に掲げたものです。

文庫を長く続けている人、公共図書館に関わっている人、教育者、研究者、様々な立場の人が、意見を出し合い、共通の考え「学校図書館に人を」という思いで作った会です。主な活動は、

講演会、学習会 先生や学校図書館に配置されている職員の皆さんにとって有意義なものになるように、実践報告や、情報交換も出来る学習会にしています。

きりぬき羅針盤

新聞・雑誌クリッピング担当から

新聞記事のクリッピング作業も順調？ にすすんでいます。平成18年1月から8月までの記事採録が済み、ホームページで見ることができます。新聞を見て記事を探していると、興味深い記事や面白い記事について読みふけってしまうことがあります。

この記事も紹介したい、あの記事も載せたいと気持ちは大きくふくらむばかりです。しかしここは欲張らず「いやいや、子ども読書支援に関わるもの...関わるものだけ...わき道はいけない...いけない...」と、心の中で唱えます。冷静になり、真剣に対象記事を選んでいきます。ホームページを見ていただくと感じるとは思いますが、子どもの読書に関する記事ひとつとっても映画やコミック、教育や生活、公共図書館や一般書店、読み聞かせやボランティア活動、健康やゲームなどありとあらゆる方向から情報が発信されています。蓄積された情報が少しでもお役に立てばうれしいです。

さて今回は、埼玉新聞(平成18年12月22日12頁)に掲載されました「子ども読書支援センター」の記事を紹介したいと思います。

同図書館の児童サービス担当「山成直子」さんは、「センターは情報共有の場と考えており、発信だけでなく、全県から情報が集まってくればうれしい」と、センターが果たす役割の大きさに期待している。(関根記者)

…中略…

地域で活動する読み聞かせボランティアとネットワークを育もうと、子どもの読書に関する情報を収集し、整理した情報も提供している。

同センターは昨年4月に開設した。主な取り組みは、読み聞かせボランティアの指導者育成、子どもの読書に関わる個人や団体を集めた交流会の開催など。

子どもの読書活動をサポートする「子ども読書支援センター」が、県立久喜図書館内にあります。子どもの読書に関する相談に応じるほか、ホームページや情報誌の編集を通じて、子どもの読書支援ネットワークの拡大を目指している。

こちらのセンターで情報を収集発信しているのが私たち「子ども読書支援ボランティア」です。是非ホームページをのぞいてみてください。

井上 (子ども読書支援ボランティア)

子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介

見学会 先進の学校図書館を見学しています。慶応大学幼稚舎を始め、市川市立妙典小学校、志木遊学館...最近、講師の勤務する東京純心女子中学校。

配置状況の調査 県内市町村教育委員会に電話で聞き、結果を『waltz』に掲載

県教育委員会との話し合い 年1度、読書活動推進等。

『waltz』の発行 年3回発行。県内教育委員会と会員に配布。会員が地元の小中学校に届けるようにしています。

学校図書館埼玉ネットワークで検索するとブログにアクセスできます。

金子友子(埼玉ネットワーク事務局)

「waltz(ワルツ)」は子ども読書支援センターでご覧いただけます。



Nice to meet you !
子ども読書支援ボランティアです。

埼玉県立図書館のホームページ
<http://www.lib.pref.saitama.jp/>
「子ども読書支援サービス」のページ



使えるブックリスト

ブックリスト担当から



昨年12月、冬の読み聞かせリストの作成が終わり、四つの季節のリストが完成しました。

初めて読む本・あらためて感動した本・冊数制限のため惜しくもはずした本など、メンバーにとってもいろいろ思いが入り、この選書の時間は、とても大切な時間となりました。

そうして出来上がったリストが、みなさんに活用されていると図書館の方から聞き、とてもうれしい気持ちとともに、今後の活動の力にもなっています。また、今まではHP上でのご紹介でしたが、手に取って見ていただけたらと思うのと、現在、配布用のリストを作成中です。今以上にたくさんの方に活用していただけたらと思っていますので、出来るまでもう少しお待ちください。今後の活動としては、「お母さんや先生が毎日少しずつ読み聞かせをするのにおススメな長めの本」のリストを作っていく予定です。

前回、みなさんに呼びかけたところ、さっそく「こんな本はどうですか？」とFAXでご意見を送っていただきました。

これらの本は、小学校のおはなし会でブックトークをして本を置いてきます。低学年用を書き出してみました。お母さんや先生が読みきかせしてくださったら、うれしいですね。 栗橋町の斎藤様より

「こぐまのくまくん」シリーズ	E. H. ミナリック	福音館書店
「かえるくん・がまくん」シリーズ	アーノルド・ローベル	文化出版局
『エルマーのぼうけん』	ルース・ガネット	福音館書店
『チム・ラビットのぼうけん』	アリソン・アトリー	童心社
「やかまし村」シリーズ	アストリッド・リンドグレーン	岩波書店
『魔法使いのチョコレート・ケーキ』	マーガレット・マーヒー	福音館書店

ありがとうございます。これからの活動に役立てたいと思います。いつでもみなさまからのリクエスト・ご意見、お待ちしております。

二橋(子ども読書支援ボランティア)

知っ得情報!



インターネットからの情報収集担当から

ボランティアが集まっていた時のこと、「そういえば県立図書館のHP(ホームページ)が新しくなって”子ども読書支援サービス”の入り口が分かりにくかったよね」「そうそう、私も探しちゃった」との声が...。皆様は「子ども読書支援サービス」の入り口がトップページのどこにあるかご存知ですか?今回はそのご案内をしたいと思います。

県立図書館のHPのトップページ(<http://www.lib.pref.saitama.jp>)を見ると、右端に緑色の字で[お知らせ][図書館案内]という見出しがあります。そのまま画面を下方にスクロールしていくと[図書館案内]の下に黒字で[サービス案内]という見出しが現れます。この[サービス案内]の5番目の▶の項目が「子ども読書支援サービス」です。あとはここにカーソルを合わせてクリックすると...さあ、「子ども読書支援サービス」のページです。ここで「お気に入り」に登録しておくと、次回からワンクリックで表示され便利です。

大澤(子ども読書支援ボランティア)

*** おすすめHP(ホームページ)の紹介 *** [リンク集にありますので一度、訪ねてみてください。](#)

☑ 国際子ども図書館 <http://www.kodomo.go.jp/index.jsp>

展示会「大空を見上げたら-太陽・月・星の本」を開催中。関連イベントも

☑ 高槻市子育て”あんしん”ネット

http://www.city.takatsuki.osaka.jp/cgi-bin/child_care/top.cgi

「いっしょに遊ぼう おやこで手遊び」では、手遊びを詳しく紹介。お話し・読み聞かせの導入の参考に。